

閉会挨拶（3月9日）

運輸総合研究所理事長の佐藤です。お疲れのところ恐縮ですが、今後の予定のお知らせの前に少しお時間を頂戴して、一言申し上げます。

まず、貴重なお話を下さった高村先生と藤井国土交通審議官、河野先生及び山内所長を始めとするパネリストの皆様、長時間にわたりご参加いただいた大勢の視聴者の皆様、そして当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に御礼を申し上げます。

さて、昨年10月26日、菅内閣総理大臣が「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」と表明されました。本日のシンポジウムは、この総理の発言を受けたもののように見えますが、それだけではありません。

私ども運輸総研が調査研究のテーマとして「航空分野におけるCO2削減対策」を取り上げたいという相談を日本財団に持ちかけたのは、菅総理発言の1年前、一昨年10月のことでありました。これに対し、日本財団からは、航空分野だけでなく海事分野におけるCO2削減対策も併せて取り上げてはどうかとのアドバイスを頂き、昨年4月から日本財団のご支援のもと、本日ご登壇いただいた河野先生と山内所長をそれぞれ委員長とする二つの調査検討委員会を立ち上げ

て、調査研究を実施してきたところであります。

改めまして、日本財団の先見性のあるアドバイスと継続的なご支援に対して、感謝申し上げる次第であります。

運輸総研では、今後とも、「航空、海運など交通分野における CO2 削減対策」を調査研究の最重要テーマの一つと位置付け、本日のようなシンポジウムの方も活用して、皆様と一緒に考えてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私からは以上です。この後、今後の予定のお知らせがあります。

本日は、最後までご視聴いただき、誠にありがとうございました。